

資料館便り

平成 28 (2016) 年

11月号

石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に、昭和 49(1974) 年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけの一つです。

○「資料館便り」編集：発行 石川町立歴史民俗資料館
〒963-7845 石川町字高田 200-2 0247 (26) 3768

和久観音山ペグマタイト鉱床：町天然記念物指定！

～ペグマタイトとしては、国内4番目の指定～

○「和久観音山ペグマタイト鉱床」は、「日本三大ペグマタイト鉱物産地」として全国に知られる石川町を代表する場所です。（「ペグマタイト」の解説：10月号）

このペグマタイト鉱床が、今月の石川町教育委員会で天然記念物に指定されました。



↑ 和久観音山の全景

指定理由は、大きく二つ挙げられました。一つは鉱物学上の見地からで、実に多くの種類に富んでいる点が貴重であることです。例えば、大正 11 年 (1922)、ここで発見された「石川^{いしかわ}せき石」は世界の^{いしかわ}新鉱物として認定されています。もちろん、日本初のことでした。

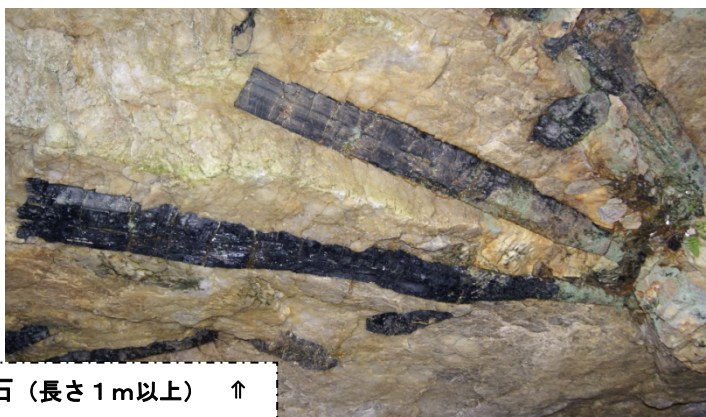
もう一点は鉱業的・歴史的な理由です。この鉱床は和久観音山鉱山として、明治 40 年代 (1900 年代初め) には採掘が行われていました。その鉱石はペグマタイト鉱物の中心である長石と珪石 (石英) です。陶磁器の原材料として一大生産地である中部地方に出荷されていた記録が残っており、石川町内でもっとも古い鉱山であったと言えます。



↑ 第 1 鉱体の坑道

この鉱山は昭和 40 年代に閉鎖されましたが、町民有志が石川鉱石採掘跡保存会を立ち上げ、青少年が鉱物に触れる教育の場として活用して来た歴史もあります。

全国的に見ても、ペグマタイト鉱床としては 4 例目の指定であり、「町の宝」として、今後の整備、保存には一層力を尽くしたいと思います。



第 4 鉱体の天井にある鉄電気石 (長さ 1 m 以上) ↑